

北海道労働局発表
平成27年5月15日

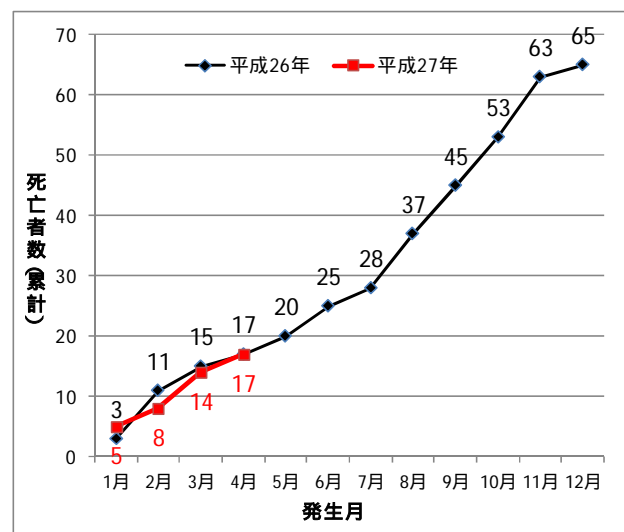
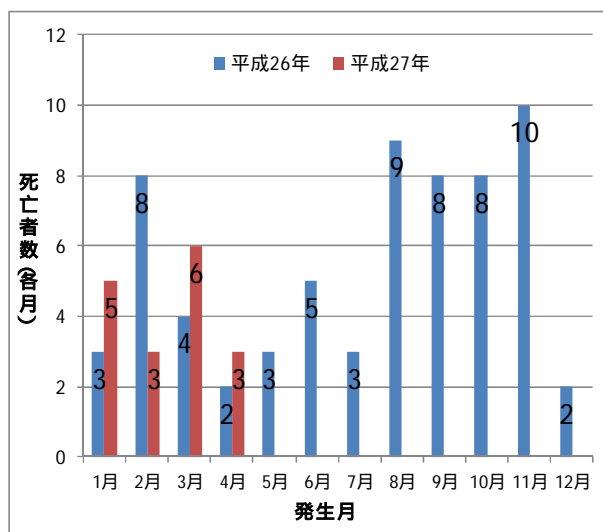
【担当】
北海道労働局労働基準部安全課
課長 山谷 幸雄
主任安全専門官 大森 聡
課長補佐 中野 浩昭
電話:011-709-2311(内 3551・3553)
F A X :011-756-0056

死亡災害は横ばい、死傷災害は3.5%減少

- 北海道内の労働災害発生状況（平成27年4月末現在速報値） -

1 労働災害による死亡者数（1月～4月）

道内の労働災害による死亡者は、平成27年4月末現在で17人と、前年同期と同数となっています。



（1）業種別の状況

業種別に見ると、「建設業」が6人（全体の35.3%、前年同期比2人増）と最も多く、「製造業」が2人（全体の11.8%、前年同期と同数）、陸上貨物運送事業、林業などが1人ずつの順となっています。

（2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「交通事故（道路）」が5人（全体の29.4%）と最も多く、次いで、「墜落・転落」が4人（全体の23.5%）と続き、「火災」が3人（全体の17.6%）と、この3種類の災害で全体の70.6%を占めています。

2 労働災害による死傷者数（1月～4月）

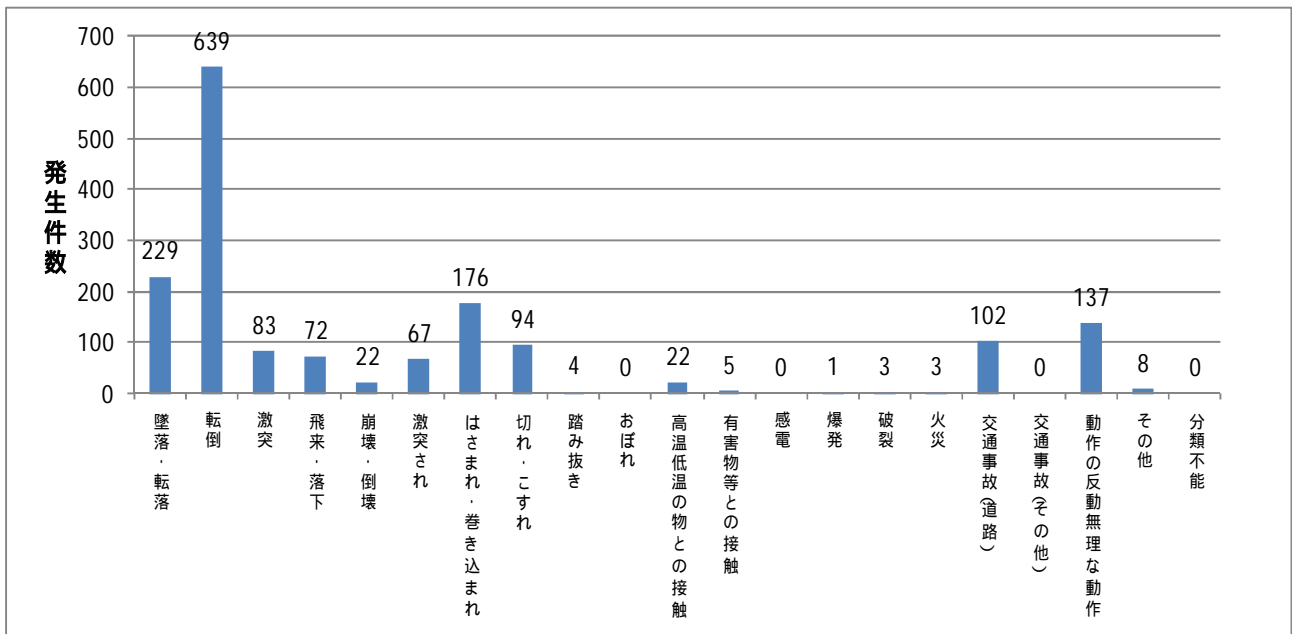
道内の労働災害による休業4日以上死傷者は、平成27年4月末現在で、1,667人と、前年同期比61人（3.5%）の減少となっています。

（1）業種別の状況

業種別に見ると、「製造業」が307人（全体の18.4%、前年同期比29人増）と最も多く、次いで「商業」が292人（全体の17.5%、前年同期比4人減）、「陸上貨物運送事業」が222人（全体の13.3%、前年同期比33人減）、「建設業」が187人（全体の11.2%、前年比27人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が639人（全体の38.3%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が229人（全体の13.7%）、「はさまれ、巻き込まれ」が176人（全体の10.6%）、「動作の反動・無理な動作」が137人（全体の8.2%）となっています。



3 北海道労働局の対応

- （1）北海道労働局では、第12次労働災害防止計画に基づき、死亡災害の防止に努めているところですが、特に4月26日に発生した火災災害を契機として、火災による労働災害防止について、関係する業界団体等に対して緊急要請を行うこととしています。
- （2）死傷災害でトップを占める転倒災害について、「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」（厚生労働省）により、転倒災害の防止について取組みを強化しています。

添付資料

- 1 業種別労働災害発生状況
- 2 署別・業種別災害発生状況
- 3 平成27年における死亡災害発生状況[速報]
- 4 平成27年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)
- 5 平成27年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
(リーフレット)「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」